

坂の上の暮らし

(2022年度県民ボランティア振興基金事業)

第5号

2022年10月20日
させぼ山手研究会(Sasebo Yamanote
Workshop)
Email:mitsuguhimaki72@gmail.com
電話090(4205)7471
(編集・責任 檜楨 貢 理事長)

斜面地再生のキーワード

日本建築学会論文のタイトルから斜面地再生の課題を抽出してみました。対象は2005年7月から2022年6月までの18年間です。地域は北海道、豊島区、横須賀市、神奈川県湯河原町、長野市、宝塚市、尾道市、鳥取県日野町、北九州市、長崎市があげられていました。この中でも、北九州市の八幡東区の枝光1区と2区が頻繁に扱われています。

斜面地再生テーマの分布

区分	動向	キーワード	備考
立地	空き家・空き地の立地	戸建て住宅、劣化状況、高齢世帯の不在住化、住宅継承、居住収縮過程、形成過程(長崎市・尾道市、横須賀市)、北側住宅群提案、管理変化(北九州市枝光)、減築(長野市)	基本的には戸建て住宅を対象としている。
	接道	境界・柵、住宅地と隙間、街路構成	
	集合住宅	地形応答の集合住宅	
	開発規制	コンパクトシティ、限界集落化抑制のケーススタディ	高度・斜面度からの建物分布
住環境	ネットワーク	斜面集落(神奈川県湯河原町)	
	用途転換	空き家空き地の用途転換、果樹園	飛び地果樹園もある
	建築更新	建築更新(横須賀市)	
	住み替え	世帯収減期対応の住み替え	
	買物環境	高齢者買物環境(北九州市枝光)	
	空間認知	空間認知(長崎市)、住宅変容(長崎市)	
	住環境評価	物的状態、住民意識、評価プロセス、居住性、歩行負担量、改善プログラム	民学連携による手法を含む
地域運営	運営手法	人口減少下の運営	
	住民主体	ごみステーションの移設、町内会組織変化、民生委員との連携	地域社会レベルでの対応
	民学協働	点検過程での実施	
	まち歩き	住民の体験的課題発見、イメージマップ(東京・豊島区)、まち歩きマップ	基礎的な手法として活用
	地域活動	実態把握	
アクセス		街路ネットワークのアクセス改善(長崎市)	
モビリティ	改善	電動自転車による改善、歩行負担量(北九州市枝光)施設への想定移動圏	
局地気象	温熱と風の効果	実測調査、斜面地気流	
データベース		データベースとその活用	

注: 日本建築学会論文集のタイトル分析(文責は檜楨貢)

「博多会議(ハイブリッド会議)」

10月14日(金)、九州大学工学部と国立有明高専の2名の研究者(建築学)と私たちの会員メンバー3名(うち1名はリモート参加)、それに佐世保市職員1名の計6名が博多駅周辺のワークスペースで意見交換を行いました。研究者が対象にされている北九州市八幡東区枝光1区・2区の斜面地と佐世保市白南風町斜面地に関する地域特性と実態が論点となり、楽しい時間が過ごせました。今後も斜面地対応の先行地域や実践者との連携を進めてまいります。

「動画作成の動き」

斜面居住地の豊かな暮らしを動画に表現する作業が行われています。佐世保市によるもので白南風地域居住者(主婦)や峰坂町居住会員の生活情報を提供しております。この動画は長崎市、神戸市、長崎大学工学部における対応事例を含めて7分ほどのものにとりまとめられるようです。完成が待たれます。

斜面地低未利用地再生事業

佐世保市役所主導で斜面住宅地再生のためのワークショップが企画中。今後その手法や期日等が公表される予定。実施の際には、本研究会も参加する。

防災シビックプライド育成事業

「近助」のコミュニティとしての市民防災のあり方と体制を検討している。

斜面モビリティ事業

斜面地移動機器「ノボロ」は早岐在住の会員のDIY事業所において佐世保市内利用のための整備を進めている。